

# ソロモン

## 瓦版

Ver.1.3



〒111-0035 東京都  
台東区西浅草3-28-1  
発行 全国ソロモン会  
事務局 (寿仙院内)  
TEL 03-3841-5011  
会長 大石 廣  
編集人 笹 吉憲

全国ソロモン会では、年3回  
(5月、9月、12月)に  
会報を発行しています。

全国ソロモン会は、大東亜戦争中、ソロモン諸島方面の戦域で戦った陸海軍部隊の将兵軍属の生存者と遺族、そして有志によって構成されている戦友会です。昭和40年「全国第十七軍ソロモン会」として結成され、以降、「海軍ソロモン会」と合同し、現在にいたるまで慰霊祭をはじめ会員の親睦、現地への慰霊巡拝や遺骨収容、友好親善等の活動を続けています。

### 会報ソロモン「瓦版」目次

- 慰霊祭・総会の開催報告
- 遺骨収容派遣・現地調査派遣の活動報告
- 各支部・連絡部の活動
- 会員交流のページ
- 事務局だより
- その他の活動、問い合わせ先

全国ソロモン会の会員に向けてお届けしている会報「ソロモン」。今回は「瓦版」として、会報の概要や中身をさっくりご紹介いたします。



HPも  
ご覧ください

全国ソロモン会

検索

中身は  
こんな感じ

令和元年十月二十六日、爽やかな天気の中靖國神社にて戦友・遺族有志者七十一名が参列し、全国ソロモン慰霊祭が厳かに執り行われた。崎津総務委員長が安田会長の祭文を代読言上し、ソロモン戦域で散華された英霊に感謝と尊崇の誠を捧げ、ご安心いただけるよう一同慰霊顕彰に取り組みをお誓いし、清らかな一時を過ごした。

慰霊祭後、靖國會館「偕行の間」にて総会が行われ、ご来賓として東部ニューギニア戦友遺族会会長・堀江正夫様、ソロモンキタノメンダナホテル元総支配人・山縣雅夫様、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会理事 長・山下輝男様などをお招きし、住田陸快副会長の開会挨拶で総会が始まった。開会にあたり、ご来賓の皆様にご挨拶を賜った。とりわけ堀江様からは「慰霊祭が盛大に執り行われたことに英霊も喜んでいいることと思えます」とのご感想、遺骨収容活動について「政府の力とともに、戦友会・関連団体が協力し合い、手を取り握り合って遺骨収容

### 慰霊祭並びに総会 開催報告



### 慰霊祭並びに総会の開催報告

年に1度、10月下旬に靖國神社にて慰霊祭が斎行されます。その後は総会、直会です。会報では開催報告のほか、総会議事も合わせて掲載しています。

中身は  
こんな感じ

行程は九月二十一日から十月五日までの十五日間。主な目的はニューブリテン島ホスキンスから西ニューブリテン州北西部の島々及びワレモを起点に広大な地域で各村々を廻り、事業周知と残存遺骨情報の収集と遺骨の受領、さらにラパウルに保管されている現地人遺骨の返還という活動でした。次回参加される方のために行程を簡単に説明し

ます。ホスキンス(キンペ)の街を車二台で、パームヤシの広大なプランテーション林の悪路を走ります。約一時間かけてボートの乗船地であるガルに到着、ボート三艘に分乗して出発しました。約一時間で最初の目的地であるカンドカに到着。南の島特有の高床式の住居が並ぶ小さな村にボートが着くと大勢の村人子供たちが集まって来ました。案内人のマーシユさんが回員の

派遣  
報告



### 収容派遣、調査派遣の活動報告

一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会による遺骨収集派遣団、現地調査派遣団などに参加した会員から、活動報告が寄せられます。

### 熊本支部



### 関西支部

### 各支部からの活動報告

当会では関西支部、熊本支部のほか、仙台、宮崎、茨城、信越、旭川に連絡部を置いています。それぞれ会員同士の交流や慰霊活動を行っており、会報で随時紹介しています。

中身はこんな感じ

令和元年六月二十九日、関西支部主催「沖縄県『ブーゲンビル島戦歿勇士之塔』清掃奉仕慰霊団」と称し、沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園にあるブーゲンビル島(以下ブ島)奥津城(ブ島戦歿勇士之塔所在)にて、清掃奉仕および慰霊法要を厳修させていただいた。当会会員とガダルカナル島自主派遣隊に参加経験のある有志の八名にて、真心込めて御奉仕申し上げた。

令和元年六月二十九日、関西支部主催「沖縄県『ブーゲンビル島戦歿勇士之塔』清掃奉仕慰霊団」と称し、沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園にあるブーゲンビル島(以下ブ島)奥津城(ブ島戦歿勇士之塔所在)にて、清掃奉仕および慰霊法要を厳修させていただいた。当会会員とガダルカナル島自主派遣隊に参加経験のある有志の八名にて、真心込めて御奉仕申し上げた。

### 会員交流のページ

「会員×交差点」「全国ソロモン会と私」など会員交流のページでは、会員の近況や父母の思い出、全国ソロモン会に入会したきっかけなどが掲載されます。

会員×交差点

中身はこんな感じ

昭和十七年五月十八日の夜、小雨が降る中、一木支隊を乗せた「善洋丸」「南海丸」の二隻の輸送船は、広島・呉港を出港した。翌日、門司に寄港の後、故国に別れを告げ一路サイパン島を目指す。もともとは、日本海軍が占領したミッドウェー攻撃作戦の上陸部隊として編成されたもので、指揮官は歩兵第二十八聯隊長一木清直大佐である。この時、私の父、木下禮一は二十六歳、一木支隊所属二名の通訳官(英語)の一人としてこの「善洋丸」に乗船していた。

昭和十七年五月十八日の夜、小雨が降る中、一木支隊を乗せた「善洋丸」「南海丸」の二隻の輸送船は、広島・呉港を

会員交流



全国ソロモン会と私

## 事務局からのお知らせ

事務局からの連絡事項は、会報の最後に「事務局だより」として掲載されます。遺骨収集派遣の募集要項や事務局としての活動、お知らせなどを会員にお届けしています！

## 事務局からの連絡事項

中身は  
こんな感じ

【ソロモン諸島ピット・ブナギ総督閣下、  
来日】

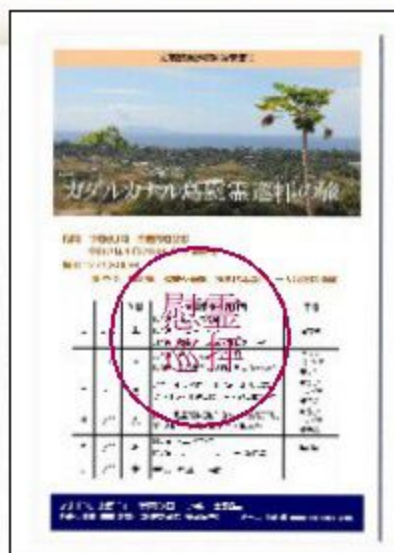
【Y・SATO先生を囲む  
昼食会】

十月二十五日、天皇皇后両陛下の「即位正殿の儀」にて来日中であつたソロモン諸島のブナギ総督閣下ご夫妻と随員の方々が東京・浅草にご案内いたしました。戦死者慰霊並びに遺骨帰還事業を通じて、日本とソロモン諸島の友好親善を民間レベルでも推進することを理解いただきました。慰霊巡拝時でも日本国大使館を通じて、総督府に皆さんで訪問くださいと有り難いご提案をいただきました。

十一月八日、九日の二日間にわたり、事務局所在の浅草・寿仙院にて、第一次遺骨収集派遣団員を対象に研修会を実施いたしました。



ブーゲンビル島戦75年記念  
桐木平武二氏スケッチ画集  
『追悼』



ガダルカナル島慰霊巡拝の旅

ほかにも  
いろいろな活動  
をしています



■ご関心のある方は事務局までお気軽にお問い合わせください。

全国ソロモン会事務局：東京都台東区西浅草3-28-1（寿仙院内）  
TEL：03-3841-5011  
MAIL：info@japan-solomon.com  
HP：www.japan-solomon.com

